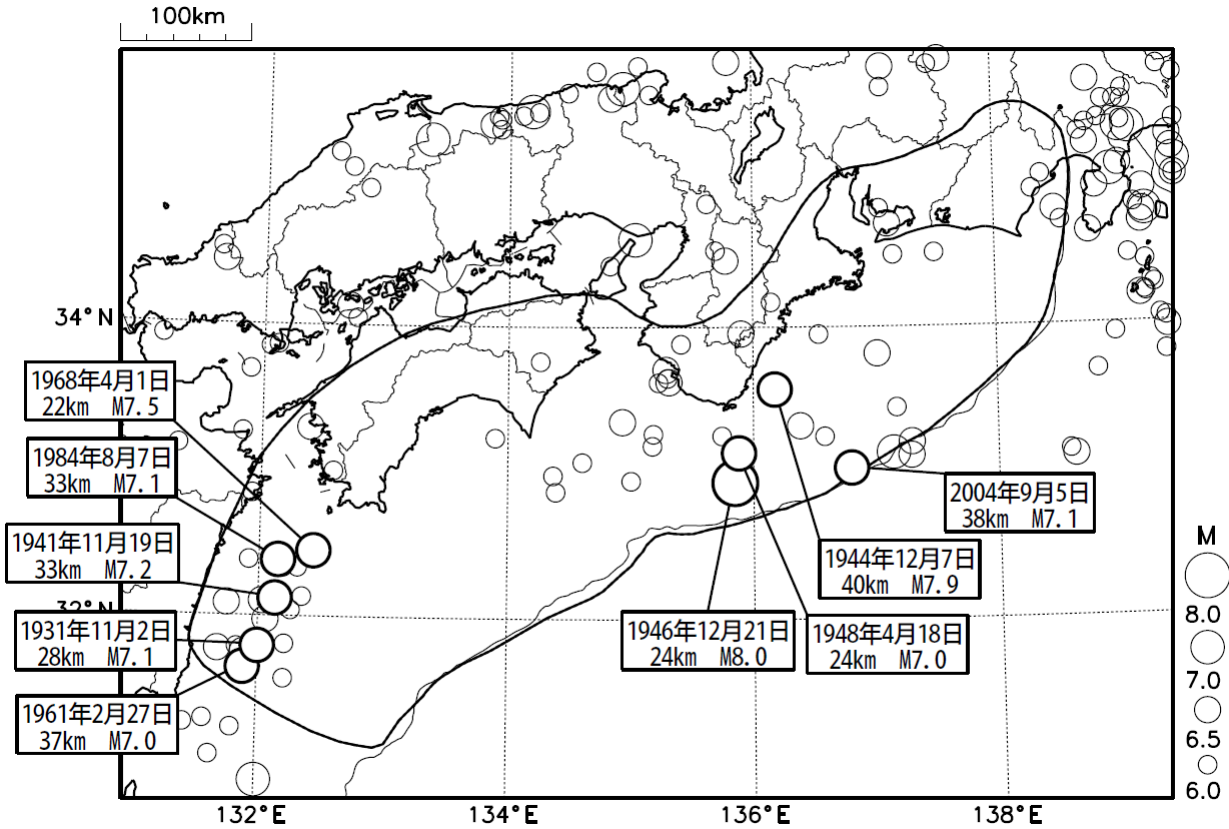


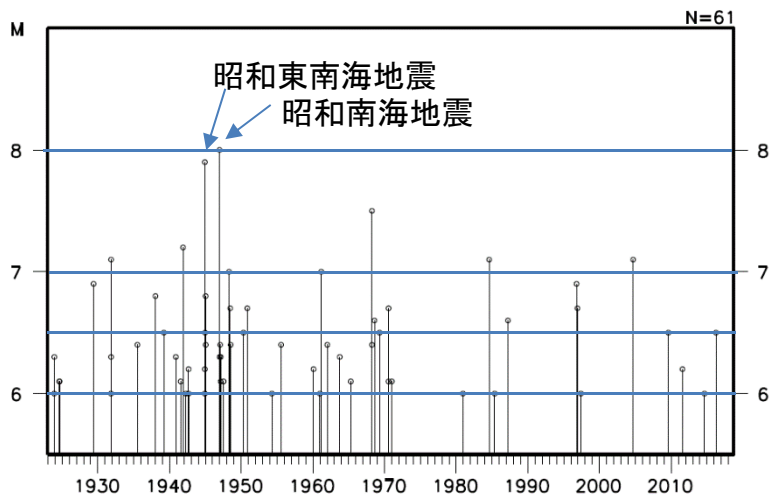
## 南海トラフにおける過去の地震発生について

## 震央分布図

(1923年1月1日～2018年9月30日、深さ0～80km、 $M \geq 6.0$ )

M7.0以上の地震に吹き出しをつけている。

## 上図の南海トラフ想定震源域内の地震活動経過図



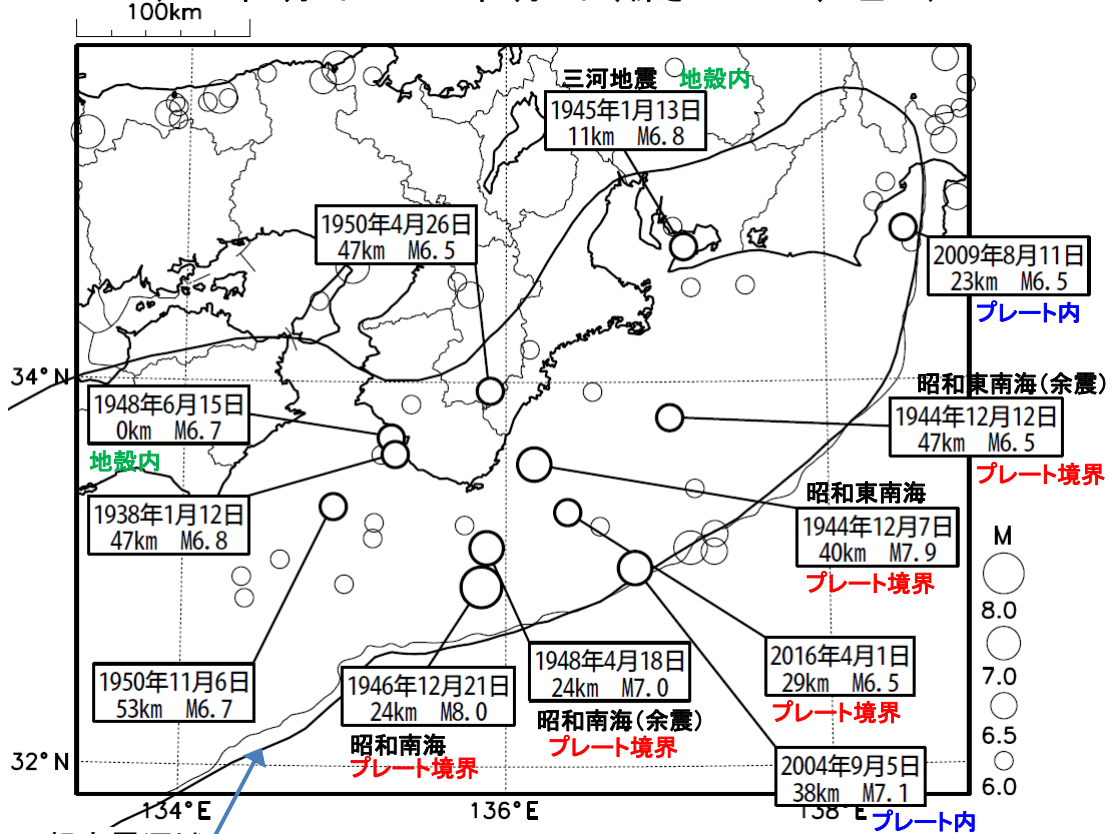
M	回数
8.0以上と 昭和東南海	2回
7.0以上	9回
6.5以上	25回
6.0以上	61回

※資料内のMはすべて気象庁マグニチュード

# 南海トラフ(駿河湾～紀伊半島沖)における 過去の地震発生について

## 震央分布図

(1923年1月1日～2018年9月30日、深さ0～80km、M $\geq$ 6.0)



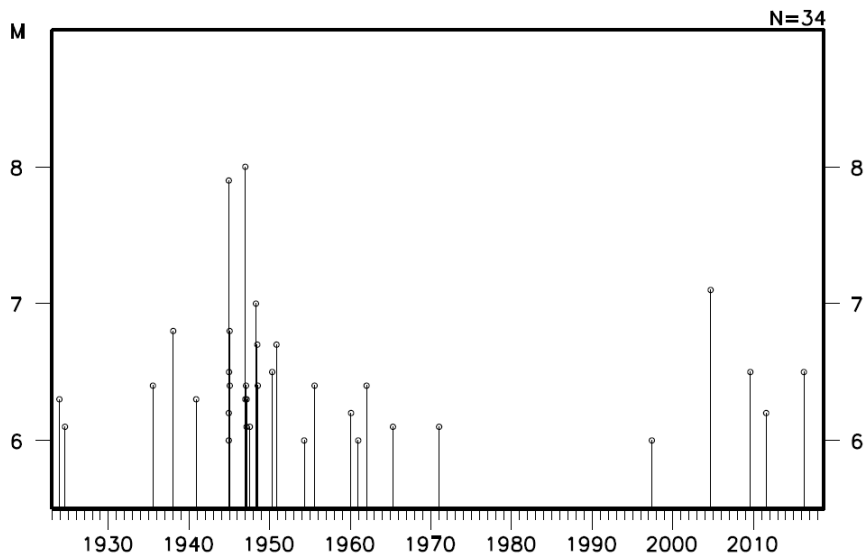
南海トラフ想定震源域

M6.5以上の地震に吹き出しをつけている。

発生場所が地震調査研究推進本部の評価等により、明確であるものについては「プレート境界」  
「地殻内」「プレート内」と注釈を入れている。

昭和東南海地震、昭和南海地震については、地震の破壊開始位置を示している。

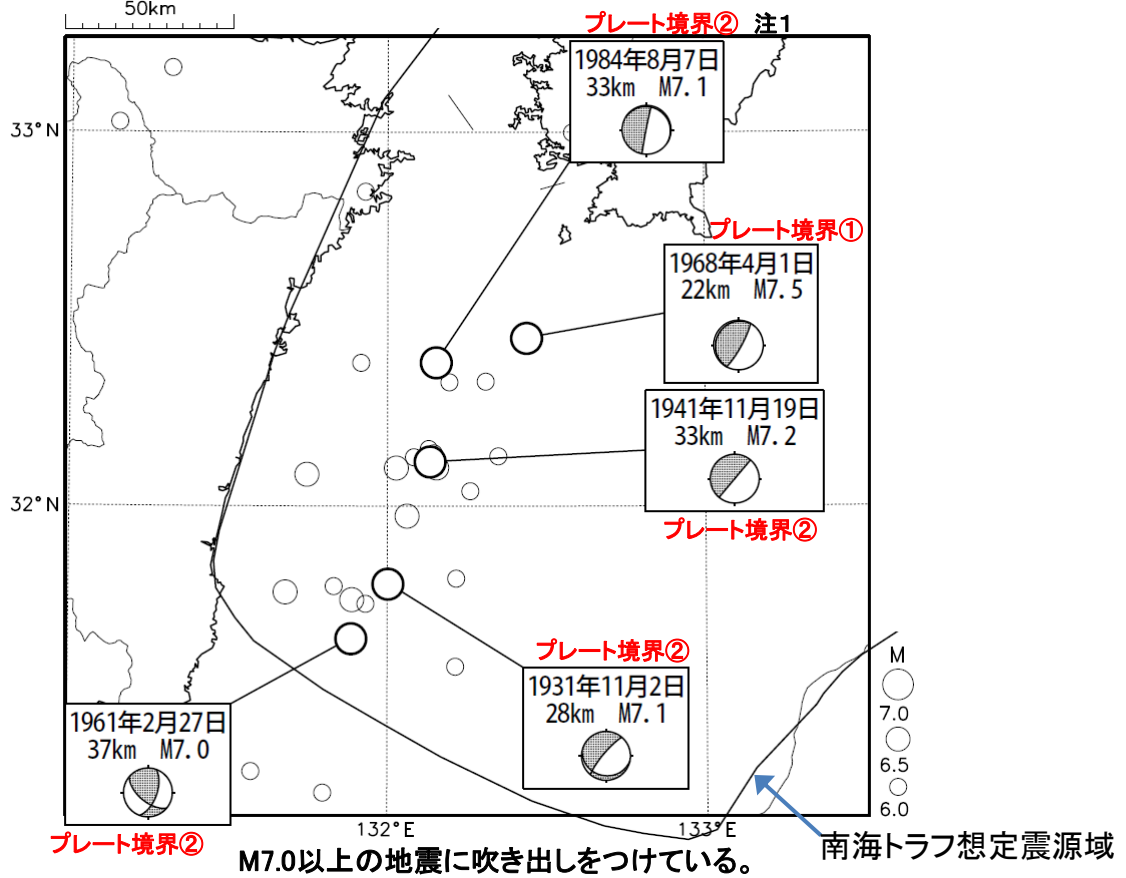
## 上図の南海トラフ想定震源域内の地震活動経過図



# 南海トラフ(日向灘)における過去の地震発生について

## 震央分布図

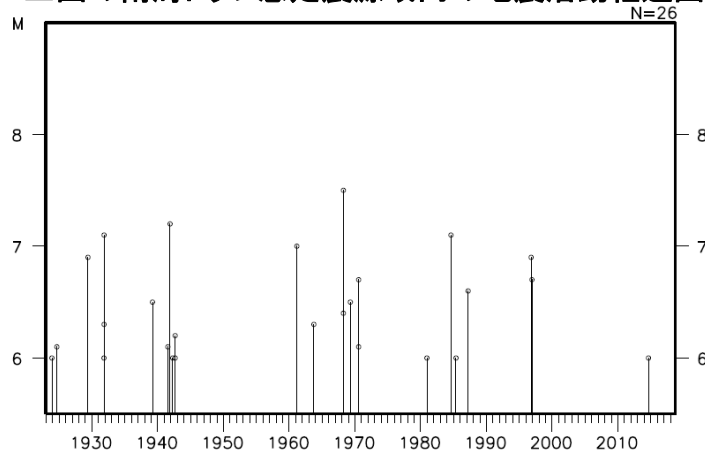
(1923年1月1日～2018年9月30日、深さ0～80km、M $\geq$ 6.0)



地震調査研究推進本部の長期評価によると、①「日向灘のプレート間地震」、②「日向灘のひとまわり小さいプレート間地震」と評価している。

注1 1984年の地震は地震調査研究推進本部の長期評価によると、発震機構解の見直しにより、プレート内地震である可能性が指摘されている。

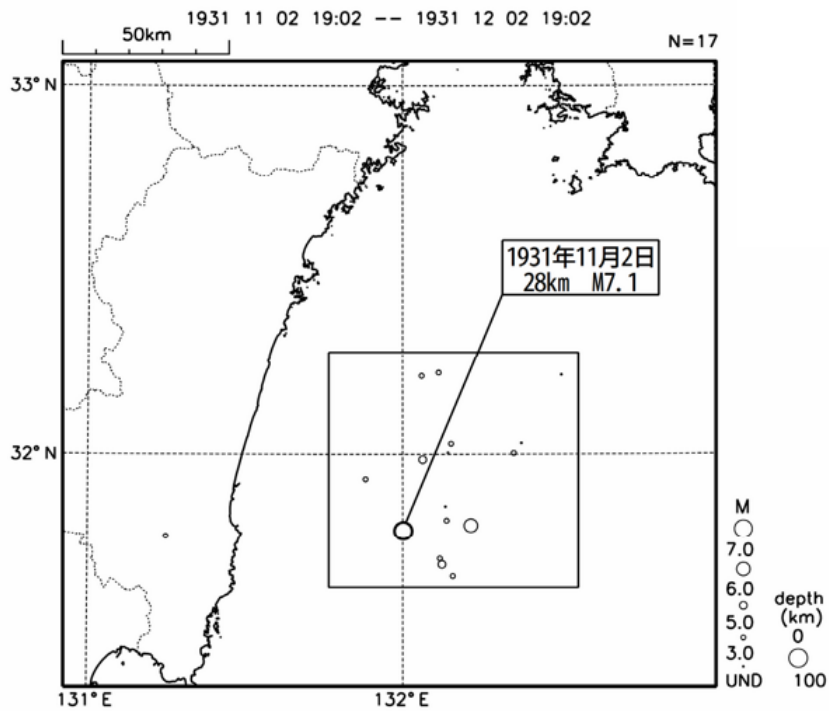
## 上図の南海トラフ想定震源域内の地震活動経過図



日向灘では、地震調査研究推進本部の「大地震後の地震活動の見直しに関する情報のあり方 (H28 公表)」によると、1923年以降、M6.0以上の地震が発生した際に、規模が近い地震が続発した事例はない。

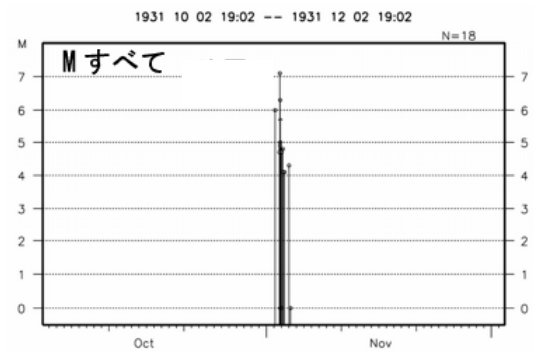
## 1931年11月2日 日向灘の地震

・1929年5月に近傍でM6.9の地震あり

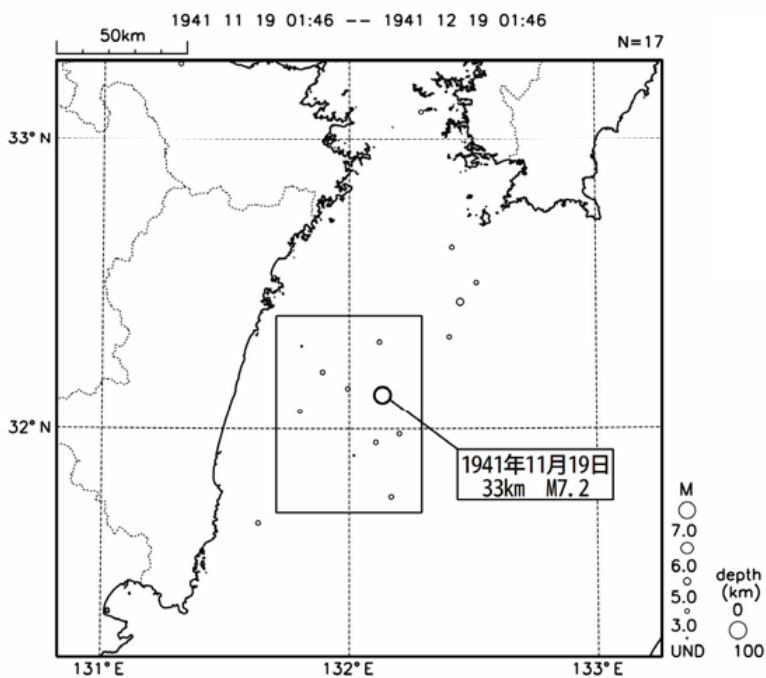


マグニチュード:7.1  
最大震度:5  
最大津波高:42.5cm※

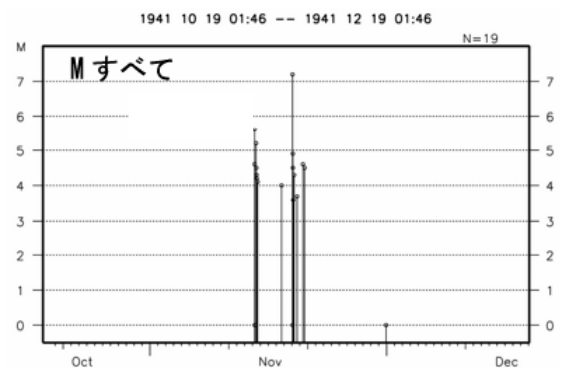
※全振幅の半分の数値を記載



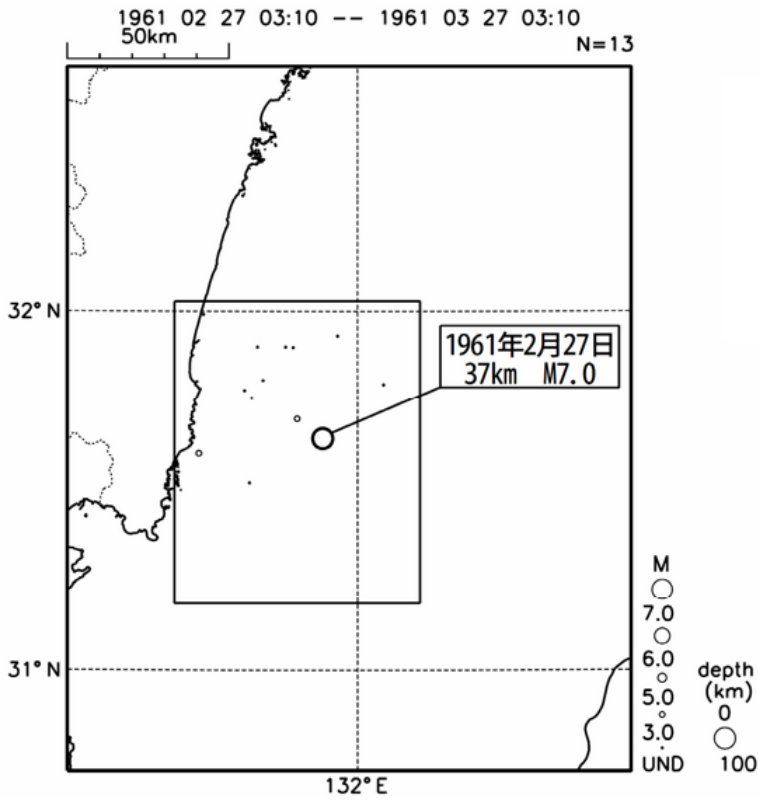
## 1941年11月19日 日向灘の地震



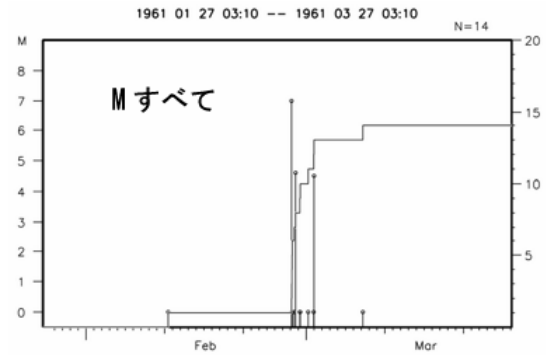
マグニチュード:7.2  
最大震度:5  
最大津波高:1m



## 1961年2月27日 日向灘の地震

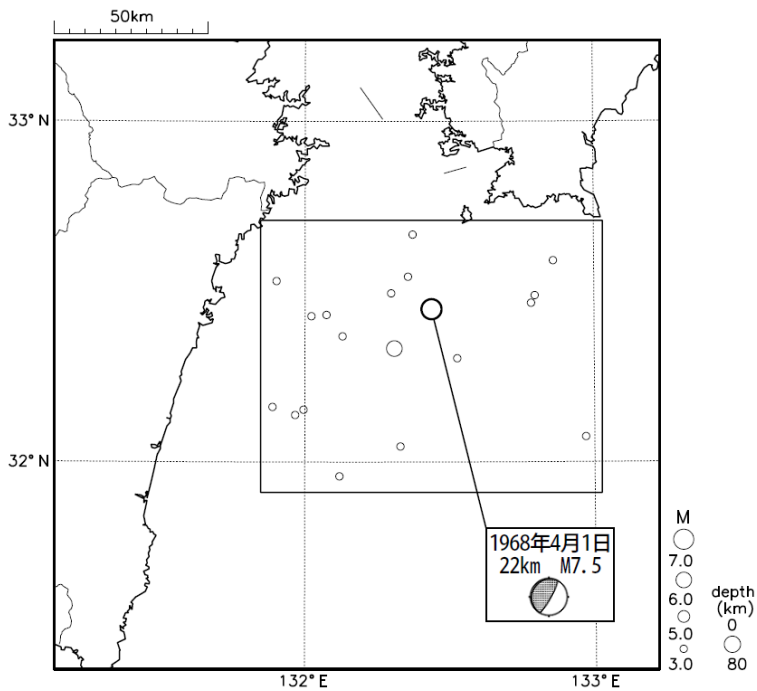


マグニチュード:7.0  
 最大震度:5  
 最大津波高:50cm



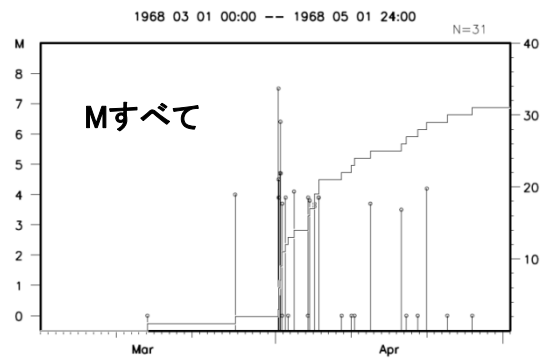
## 1968年4月1日 日向灘地震

【1968年日向灘地震】

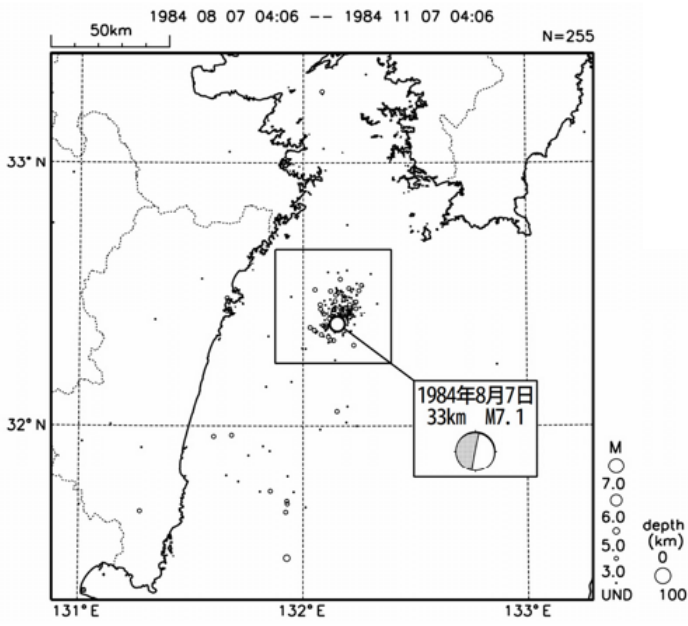


マグニチュード:7.5  
 最大震度:5  
 最大津波高:120cm※

※全振幅の半分の数値を記載



# 1984年8月7日 日向灘の地震



マグニチュード:7.1  
最大震度:4  
最大津波高:18cm

